

櫻

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和5年 11月24日(金) Vol.29

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も、自分も、大切にしよう」

「あきらめずに、取り組もう」



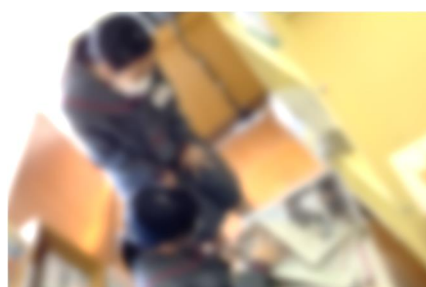
【ホームページへ】

図書室のミライへ

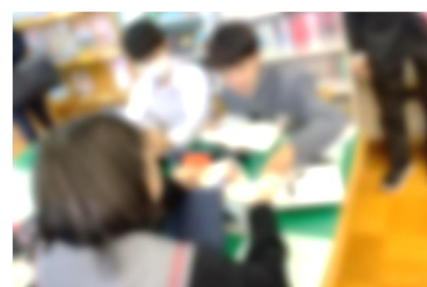
22日(水)に行われた、図書館教育をテーマにした研究大会は、市内はもちろん、旭市や松戸市、大多喜町など、市外の様々な地域から、100名以上の方が来校し、大盛況でした。公開授業を行った1A、2A、2B、3Aの生徒は、いつも通りに生き生きと活動することができました。



【タブレットで資料を探そう】



【新聞のスクラップも活用します】

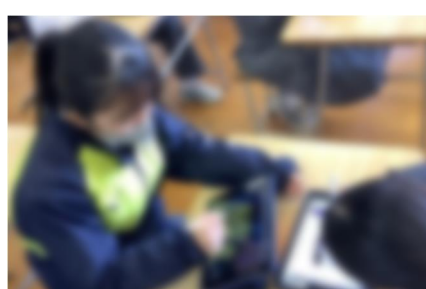


【話し合ったり、教え合ったり】

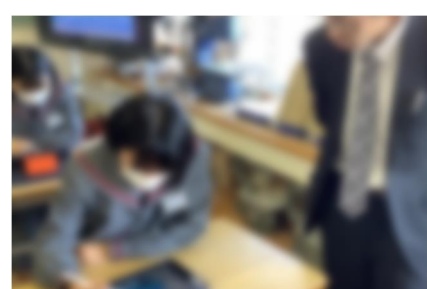
1Aの「総合的な学習」では、職業調べの学習に、図書室の蔵書をいかに効率的に活用するか、というテーマで活動しました。単純にネットで検索するのではなく、ネットの情報と本から得た情報を吟味するなどして、より必要な情報を手に入れようとしていました。情報が手軽に集められる現代において、これからは、「適切な・必要な情報」をいかに集めるか、が求められていきますね。



【各自が本の世界に没入】

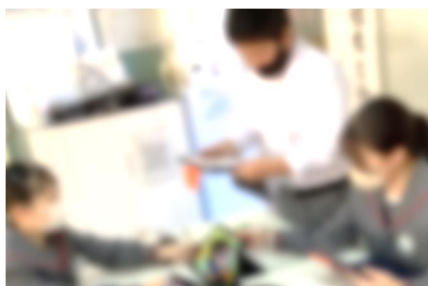


【作品のイメージを、どんな風に表す?】

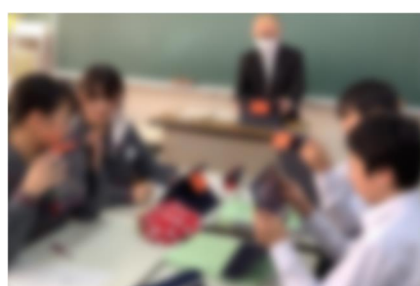


【参観者も感心して注目しています】

2Aの美術科では、国語の授業で学習し、各自が選んだおすすめの一冊を、ポップで表現するというもの。本の内容や面白さがすぐ想像できるようなイラストや、興味をかき立てられるキャッチフレーズなど、小さなカードに、たくさんの情報をいかに効果的に盛り込むか…生徒は試行錯誤しながら取り組んでいました。参観者は、生徒がタブレットに専用ペンでスイスイと描いている様子を、感心して見ていました。



【互いのQRコードをスキャンし合っ

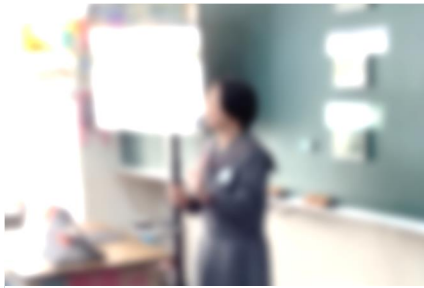


【どんな情報が出てくるかな】



【作者について写真や表でまとめました】

2Bの技術・家庭科では、本の様々な情報をQRコードに変換する、というもので、こちらも注目が集まっていました。QRコードは、わずかなスペースに大量の情報を結びつけることができます。作者の紹介、登場人物の相関図など、その作品に興味を持ってもらうために、国語科や美術科と連携して、イラストや文字を入れるなど、工夫していました。今後、様々なことに応用できそうな授業でした。



【作品のよさを、言葉を尽くして語る】



【いい質問が次々と出ました】



【作品の魅力を、しっかり伝えました】

3Aの国語科は、ビブリオバトル風に、おすすめの本を紹介し合うスピーチを行いました。聴衆の心をつかみ、その本を面白い・読んでみたい、と思わせるために、何をどのように紹介するか、知恵を絞り、表現を尽くしました。あらすじや感想の紹介に終始することなく、自分の体験や、作品から受け取ったメッセージなども語られており、非常に面白かったです。仲間からの質問も、話題を広げる、発展性のあるもので、お互いの理解を、さらに深めることができました。

この他に、〇〇先生と〇〇先生から、図書室での学習の工夫や、イベントの充実など、図書室の運営の工夫について発表がありました。生徒の作ったポスターの展示や、デジタル紙芝居、「おみくじイベント」のコーナーにも、たくさんの方が集まって、見たり触れたりしていました。(タブレットを実際に置いて、体験できるようにしてありました。)

何人も参観者が、「生徒が楽しんで、進んで活動に取り組んでいる様子が伝わってくる。実践内容のレベルが、非常に高い」と話していました。また、国語科以外の教科と図書室を関連付けていることも、高く評価されていました。

生徒がもつ、素直さ、誠実さ、前向きな姿勢と、本校の教職員がもつ、明るさ、熱意、アイデアが、相乗効果を生み、このような実践につながったのだ、と捉えています。この日の発表や授業などから、本校の積み重ねてきたものが、たくさんの方に認められたことは、うれしく、誇らしい気持ちでいっぱいです。

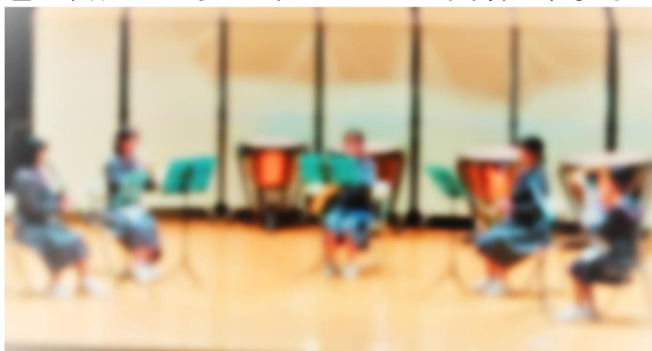
「うちの学校でもやってみよう」と話す参観者もたくさんいました。本校の実践が、あちこちの学校で役立てられ、よりよい指導・支援につながり、広がっていくのなら、こんなにうれしいことはありません。

最善を尽くすために

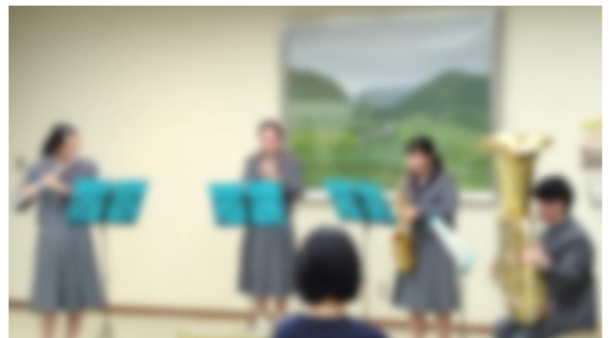
19日(日)に、大栄公民館で行われた吹奏楽部によるアンサンブルコンテスト。本校からは木管四重奏と金管五重奏がそれぞれ出場しました。

木管は、研修室という明るい部屋で、聴衆との距離も近い状態で演奏し、金管は、大ホールという大きな舞台上、煌々とスポットライトが当たる中での演奏でした。

どちらも緊張したことと思いますが、仲間の音を聞きながら、素晴らしい音色を奏でることができました。出番が終わったあとの、ほっとした笑顔が印象的でした。



【金管五重奏。曲調の変化を意識し、丁寧に演奏しました、重厚で折り重なるようなアンサンブルがよかったです。銅賞受賞】



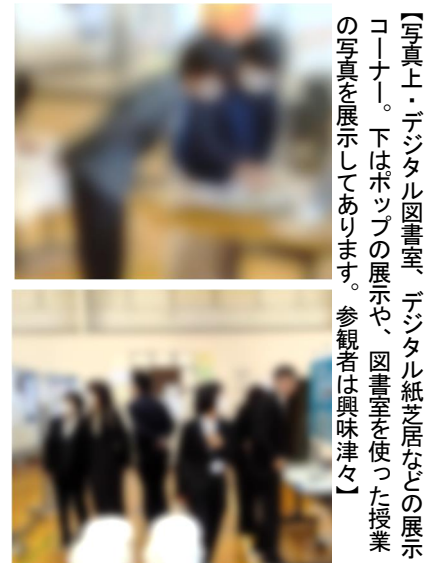
【木管四重奏。呼吸の合ったアンサンブルの響きが、実に素晴らしかったです。銀賞受賞】

今回のような舞台を何度も経験していくうちに、少しずつ場慣れして、さらに落ち着いて、自信をもって演奏できるようになることでしょ。

部活などの試合や大会、そして試験のように、いつもとは異なる雰囲気の中でも、全力を発揮したい場面は、誰にも、これからもたくさんあります。

そのためのために、日々の練習や学習などの積み重ねを、大切にしてほしいものです。

これから先も、本校の生徒が、場の雰囲気に圧倒されることなく、「ここぞ!」という場面で、自分自身の最善を尽くせるように、心から願っています。



【写真上・デジタル図書室、デジタル紙芝居などの展示コーナー。下はポップの展示や、図書室を使った授業の写真を展示してあります。参観者は興味津々】